

③重点的取組に対する実施状況

重点課題1：生活習慣病予防の取組

【重点施策1】受診率向上へのしくみづくり

【令和5年度に取り組んだこと】

①意識の向上

- ★ 健康スポーツ交流フェスティバル等のイベントにて健(検)診の啓発を実施
- ★ 町LINEを活用した健(検)診受診勧奨の実施(女性がん検診の再勧奨、集団健(検)診1月追加実施分)
- ★ 特定健診の受診勧奨について広報誌「華創」(8月号・12月号)に掲載
- 母子手帳アプリ「母子モ」で女性がん検診・各健(検)診情報の配信

②受診の障害を取り除く

- ★ 特定健診(集団健診)の再開(R1～R4年度コロナで中止)
- ★ 町内巡回検診(肺・大腸がん検診)や人権センターでの健(検)診を再開
- 成人健(検)診においてインターネットでの申込受付の実施

③きっかけの提供

- ★ 特定健診・がん検診(肺・大腸がん検診)の未受診者を対象に健(検)診を追加実施
- ★ 特定健康診査未受診者及び骨密度測定会受診者に対して集団健(検)診の個別勧奨を実施

【令和6年度の取組状況】

- ☆ 胃がん検診において胃内視鏡検査の開始
- ☆ 成人健(検)診の受診再勧奨の強化
- ☆ 巡回検診を町内商業施設での実施場所の拡充
- 広報誌やホームページ、関係団体を通じた受診勧奨の実施実施
- 母子手帳アプリ「母子モ」や町LINEを活用した健(検)診受診勧奨の継続実施
- 特定健診・がん検診の未受診者への健(検)診の追加実施(1月実施予定)

【R5年度】●：継続実施 ★：再開・新規 【R6年度】○：継続実施 ☆：再開・新規

【重点施策2】生活習慣改善のための取組の推進

【令和5年度に取り組んだこと】

①ライフステージに応じた啓発

- ★ 乳幼児健診(2歳4か月児健診)で歯科集団指導を再開
- ★ 特定健診(集団健診)受診者に対する特定健診結果相談会を再開
- ★ 特定健診結果相談会で地域包括支援センターと連携し、フレイルハイリスク者や介護についての相談を実施(再開)
- ★ 後期特定健康診査受診者のうち、生活習慣病の重症化予防対象者に保健指導を実施
- ★ 健康講演会の実施(R4:6回→R5:7回)

②ICTを活用した情報発信や啓発方法の工夫

- ★ 特定保健指導対象者へ、インターネットを活用した特定保健指導の実施
- ★ 健康教室の申込にインターネットでの申込受付を活用
- 健診結果相談会でせいか365健康応援団による健康チェックの実施

③食に関する取組

- ★ せいか365プロジェクト「せいか食育劇団もぐもぐ」による食育劇のYouTubeの配信の継続実施と、町内保育所及び幼稚園での食育劇公演の再開支援
- ★ 精華町食生活改善推進員協議会(あすなろ会)養成講座の開催 [あすなろ会新規加入者6名]
- ★ 精華町食生活改善推進員協議会(あすなろ会)による精華南中学校での調理実習の再開

【令和6年度の取組状況】

- 特定健診結果相談会・はつらつ相談の開催場所・回数の拡充
- ☆ 歯周病検診の開始(令和6年9月開始)
- 骨密度測定会で住民団体と連携した運動及び食の啓発の実施
- ☆ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、高齢福祉課と連携し「ますます元気教室」を開催し、フレイル予防と特定健康診査結果相談を実施
- ☆ 京都府立大学と連携し、イベントで「食生活診断システム」を活用した食の啓発の実施

【R5年度】●：継続実施 ★：再開・新規 【R6年度】○：継続実施 ☆：再開・新規

【重点施策3】子どもの適切なメディア利用と運動・身体活動の向上に向けた取組の推進

【令和5年度に取り組んだこと】

①運動の機会の提供

- せいか365プロジェクトの各活動において、親子を対象に身体活動を増やすイベント実施
(「わくわく健康里山の会」及び「Let's DIY」プロジェクトによる木工体験の実施)
- 親子を対象としたウォークラリーイベント「親子で楽しもう！せいかお宝発見わくわく体験」の継続実施 [参加者:500組]
- せいか祭りでせいか365スタンプラリーの継続実施 [参加者:1025名、ラリー終了者690名]
- ★ 精華町スポーツ協会と共催で「健康・スポーツ交流フェスティバル」を開催(R2～R5年度コロナで中止)
- ★ せいか365プロジェクト「いちご体操プロジェクト」及び「せいか食育劇団もぐもぐ」による幼稚園・保育所巡回公演の再開

②情報発信・啓発

- ★ せいか365職員運動推進部会がいちご体操動画を作成し、SNS等で配信
- 母子手帳アプリ「母子モ」で町の子育て情報やプレイルームについての情報配信
- ★ 「家族の健康カレンダー」に子どもの運動に関するクイズを掲載

【令和6年度の取組状況】

- ☆ 乳幼児健診等の母子保健事業を活用して、いちご体操の動画の情報発信
- ☆ 同志社大学と連携し、歩道にシールを貼付したウォーキングコースを設定し、歩行増加につなげる取組を実施
- ☆ 精華町ふるさと案内人の会と共催で、親子で参加できるウォーキングイベントを実施
- 「健康・スポーツ交流フェスティバル」、「親子で楽しもう！せいかお宝発見わくわく体験」及びせいか祭りのスタンプラリー等の運動イベントの継続実施

【R5年度】●:継続実施 ★:再開・新規 【R6年度】○:継続実施 ☆:再開・新規

重点課題2:仲間・人間関係・つながりの取組

【重点施策4】つながりを意識した子育て力の強化

【令和5年度に取り組んだこと】

①ICTを活用した情報発信

- ★ 母子手帳アプリ「母子モ」の周知・啓発を強化[登録者R4年度400人→R5年度640人]
- ★ 母子手帳アプリ「母子モ」の機能を追加し、子育て世代に合った情報発信を実施

②関係機関との連携・支援体制づくり

- ケース支援や母子保健事業を通じて、医療機関や療育機関等と連携し、顔の見える関係づくりを行った
- 母子健康包括支援センター運営検討委員会の開催回数を増やし、関係機関とのネットワークを構築
- 小中学校の養護教諭と情報共有・協議を定例で実施し、学校とのネットワークを構築
- ★ 町内中学校で「いのちの授業」の実施(R4年1校→R5年2校)

③地域でのつながりづくり

- 新生児訪問で主任児童委員の紹介チラシを配布
- ★ 「マタニティフェア」に主任児童委員が参画し、子育て世代へ地域の相談者について周知
- 住民団体と共催の「親子で楽しもう！せいかお宝発見・わくわく体験」やせいか365プロジェクトのイベントを通じて、住民団体と地域の住民とのつながりづくりの機会を提供
- 「びゅあいちご」を開催し、子育てに悩む保護者の交流の場を設定
- ★ 外国人の妊産婦同士の交流の場を設定し、地域での仲間づくりを実施

【令和6年度の取組状況】

- 乳幼児健診等の保健事業を活用し、地域のつながりや交流の場の提供
- 母子手帳アプリ「母子モ」の周知、登録者数の増加の強化
- ☆ 新規事業:1か月児健康診査費用助成事業の開始による医療機関との連携強化
- ☆ 母子健康包括支援センター運営検討委員会の外部委員の拡充
- ☆ 「いのちの授業」の実施中学校の拡充

【R5年度】●:継続実施 ★:再開・新規 【R6年度】○:継続実施 ☆:再開・新規

【重点施策5】協働による健康づくり活動の発展

【令和5年度に取り組んだこと】

①広報・周知の強化

- 各保健事業にてせいか365プロジェクトについて周知・啓発
- 広報誌や町内回覧にてせいか365プロジェクトのイベント案内を掲載

②住民参加・参画型プロジェクト支援

- 健康づくり団体(せいか365プロジェクト3団体・精華町スポーツ協会・精華町ふるさと案内人の会)と「親子で楽しもう! せいかお宝発見・わくわく体験」を協働実施
- ★ せいか365プロジェクトネットワーク会議開催支援
- せいか365プロジェクトの活動再開支援の実施
 - ・「いきいき健康ウォーク」→ウォークイベント実施回数の増加(R4年6回→R5年7回)
 - ・「せいか食育劇団もぐもぐ」「いちご☆体操プロジェクト」→町内保育所・幼稚園での巡回、公演を再開(R5年7公演)
 - ・「いつも野菜カフェレストラン」→野菜作りと収穫祭の継続実施
 - ・「軽やか同窓会」→既存運動イベントの実施回数増加と子育て世代向けに新規運動イベントの開催
 - ・「さあ! これから塾」→他のプロジェクトとの交流を兼ねたバス研修の再開
 - ・「Let's DIY」→活動場所の拡充とお披露目会の実施
 - ・「わくわく健康里山の会」→せいか祭りにて木工体験の再開

【令和6年度の取組状況】

- せいか365プロジェクト活動支援の継続
- せいか365プロジェクトの活動状況やイベント案内を町ホームページに整理して掲載
- せいか365プロジェクトの町ホームページへの活動報告を定期的に掲載し、せいか365プロジェクトの活動の周知を強化
- せいか365プロジェクト活動場所(町内商業施設等)の拡充
- ☆ せいか365プロジェクトの自立に向けての卒業支援を実施

【R5年度】●:継続実施 ★:再開・新規 【R6年度】○:継続実施 ☆:再開・新規